

らいぶらりい 6月号

平成 26 年 6 月 11 日 (水)

豊明中学校 学校図書館

遠くて近い国ブラジルを知ろう！

今月、サッカーワールドカップ、そして2016年にはリオデジャネイロでオリンピックが開催されるブラジル。南米大陸にあり地理的には最も遠い国の一つですが、ブラジル人のクラスメイトがいたり、最近テレビなどでよく取り上げられるようになり、身近に感じている人も少なくないのではないのでしょうか。

皆さんはどれくらいブラジルについて知っているでしょうか。



『体験取材！世界の国ぐに6 ブラジル』 岡崎 務

ブラジルの国旗をあらためて見たことがありますか？ブラジル国旗は黄緑旗とよばれ、黄色は鉱物資源、緑は森林や農業資源をあらわしています。円内は南十字星をあらわした天体で、27 個の星は各州と首都のある連邦地区をあらわしています。この国旗が象徴しているように、ブラジルにはアマゾン川、イグアスの滝といった大自然が広がり、また鉄鉱石をはじめとする鉱物資源も豊富です。一方、さまざまな人種が集まるサンパウロなどの大都市もあり、広大な国土は様々な顔をみせてくれます。

カラフルな写真が満載で、ブラジルってどんな国？という基礎的な問いに答えてくれる一冊です。

さて、ここで問題です。ブラジル国旗の円内の白い帯には何と書かれているのでしょうか？



『聴いて、話すための ポルトガル語基本単語 2000』 吉浦 要

ブラジルの公用語はポルトガル語です。外国語を知るとその国の文化だけでなく自分の国の言葉や文化にもいろいろな発見があります。この本では、第1章で実際に使う単語で発音を覚え、第2章では、聴いて話すための基本単語 2000 が項目別に覚えやすくまとめられています。旅行から日常会話まで、幅広く使えて便利な実用単語集。ちょっと使ってみたいな…とか、よく聞く単語だけどどういう意味だろう？というのを調べてみるだけでもいかがでしょうか。



『おなかの中で音楽をかなでるクマ』 エリコ・ヴェリッシモ

なまけもののトカゲ、おしゃれなムカデ、いたずら好きなサルなどが暮らす、人間から忘れ去られた森。

その森で一匹の赤ちゃんグマがコウノトリに運ばれてきます。

でも、その赤ちゃんグマは感情の全てをおなかの中から奏でる音楽で表現する、不思議なクマだったのです……。

このお話の作者エリコ・ヴェリッシモは1905 年ブラジル南部のクルース・アルタという街で生まれました。1974 年にノーベル文学賞候補となったブラジル文学界の巨匠で、ブラジルでは知らない人はいないほど有名な作家です。

このシリーズの『三匹のまずしい子ブタ』という本も図書館に入っています。



『世界の子どもたちはいまⅠ期 8巻 ブラジルの子どもたち』

(現在は3 年 A の朝読書のかごの中にあります。)

世界各国の子どもたちを密着取材し、学校・家庭・地域の観点から、その生活ぶりを詳しく紹介するシリーズ。第8巻のブラジル編ではサンパウロの小学校を取材して、授業の様子や給食、行事などの学校生活を詳しく紹介。また、男女一人ずつの小学生の家庭を訪ねて、日常の生活ぶりや休日の過ごし方、習い事などを伝えます。各国共通アンケート、簡単なポルトガル語会話も掲載しています。



『ブラジルのかわいいデザインたち

—光と風の国から届いた心地よい雑貨たち』 植嶋 秀文/井岡 美保

(現在は1 年 C の朝読書のかごの中にあります。)

雑貨といっても、食品・日用品・教会グッズ・おみやげ品・いろいろな紙製品に袋物など様々。ティッシュのケース一つにしても、サンダル、お菓子の箱などなど、みんなとにかく派手で明るい色遣い。でも、ただけぱけぱしいのではなく、とてもほのぼのとしていて、おおらかというか、かわいいというか、気分が明るくなるデザインたち。どこかのんびりとした風景の中に息づくボサノバをはじめとするブラジル音楽や映画、食文化のことなど、著者がとりこになった知られざるブラジルの魅力をたっぷり紹介。



今月のおすすめ新着図書

『ありがとう！先生』 FM東京 編集

人気ラジオ番組から誕生した、全国のリスナーから寄せられた、先生と生徒の感動のコトバ集！

「“できません”ではなく、“やってみます”」

「本気でやっていたら誰かが必ず助けてくれる」

「知識は荷物になりません」

「“やればできる”ではなく、“やらなきゃできない”のです」

「何かを選択するということは、他の道を捨てるということ」

「たったひとことが人の心を傷つける。たったひとことが人の心をあたためる。」



先生の何気ない一言に励まされることってありますね。今のあなたに必要な一言が見つけれられるのでは？



朝の読書で落ち着いた一日を



6月25日(水)～7月4日(金)

「みんなでやる」・「毎日やる」・「好きな本でよい」・「ただ読むだけ」

朝、みんなで静かに読書することにより、落ち着いた気持ちで充実した一日を過ごすことができます。また、朝読のカゴには様々な分野の本が入っています。今まで目にとまらなかった本が意外におもしろかったり、視野を広げてくれたりします。是非利用してください！